

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)8月22日

所属名:高島農産普及課

番号:H24010

発信者名:中橋、小嶋

担い手意見交換会を朽木地域で開催

7月29日に、朽木地域の担い手意見交換会を開催しました。当日は7名の担い手が参加され、各担い手の今後の意向について話していただくことで、関係機関とともに課題を共有し、地域計画策定を含め、今後の地域農業の在り方を検討しました。

高島市朽木地域は、面積の90%以上を森林が占める中山間地域であり、自然豊かで魅力ある地域です。しかし、条件の整った農地はわずかであるため、生産者は厳しい条件下で耕作されており、今後、担い手の不足により、農地が適切に利用されなくなることが懸念されます。

地域計画は、10年後に誰がどこでどのように農業を進めていくのかを地域で話し合い、地域の未来をとりまとめた計画です。農業経営基盤強化促進法の改正により、今年度中に策定する必要がありますが、朽木地域は、25地域中、3地域の策定のみにとどまっています。

そこで、担い手の意向を出し合う場を設けることで、自ら地域農業のあり様をイメージして、関係者と共有するとともに、地域計画の策定にも反映していくことを目的として、意見交換会を開催しました。また、事前に市役所と進め方について調整したうえで、当日の開催にのぞみました。

当日は、まず自己紹介してもらったのち、地図上の自身が耕作している集落のところに付箋を貼っていただきました。その後、各担い手に、今後の意向について話していただいたところ、担い手が一人しかいないエリアがあることや中山間地域等直接支払交付金の事務ができる人がおらず支援が受けられない実態が明らかになりました。一方で、隣接農地を引き受け規模拡大したいと意欲を示される担い手がおられることや、就農希望者がいれば、農舎・農業機械・農地を一括して貸すことが可能であるという前向きな意見もありました。

中山間地における耕作をどのように考えていくのか、意欲ある担い手をどのように確保し支援していくとよいのか、今後も当課は意欲ある生産者に寄り添いつつ、関係機関と連携しながら、地域農業の在り方を考えていきます。

